



コミュニティ活動 かわら版

町内にあるさまざまなコミュニティの活動や情報、イベントなどをご紹介します。

「鳥獣害対策の第1歩」～生態を知ろう：アライグマ～

富士見町有害鳥獣対策協議会(産業課 農林保全係) ☎62-9222

『あらいぐまラスカル』や、可愛い風貌から日本で爆発的な人気が出た「アライグマ」ですが、現在は深刻な農作物被害を出す特定外来生物として駆除の対象となっています。幸い、町ではまだ目撃や被害の報告はありませんが、長野県内や隣接する山梨県ではアライグマ被害が報告されているため、侵入は時間の問題ともいわれています。今からできる対策を行い、新たな被害を生み出さないようにしましょう。

食性：植物食中心の雑食性。トウモロコシやスイカなどの甘い野菜から、池の淡水魚を食べた事例も報告されています。

生態：夜行性で、昼間は巣穴や家屋の屋根裏、廃屋内などで休みます。水辺での生活を好み、冬眠はしません。

特徴：ほかの中型動物に比べ、長く器用な指が特徴。目の周りが黒い帯状で、長い尻尾は縞模様です。木登りや泳ぎが得意です。

被害：スイカに穴を開けて中身をほじくり出す、トウモロコシの皮を剥くなど特徴的な痕跡が残ります。



▲画像提供：NPO法人 生物多様性研究所 あーすわーむ

対策 ①富士見町に侵入させない

富士見町がアライグマにとって魅力のない場所と思わせることが大切です。集落柵や町外周柵の整備も大切ですが、まずは自分の畑に廃棄したままの野菜や果物がないか、集落の中に採らずに残っている柿やキウイ等がないか、確認をお願いします。

②餌付けをしない

アライグマはその可愛い風貌から、餌をあげてこっそり飼育してしまう人が少なくありません。しかし、特定外来生物に指定されているアライグマの飼育は、法律により禁止されています。強い繁殖力を持つアライグマは餌環境が良いと爆発的に増えてしまうため、餌付けは絶対にしないでください。



▲出典：農水省「野生鳥獣被害防止マニュアル(特定外来生物編)」

富士見町スポーツ少年団だより

富士見町スポーツ少年団事務局(町民センター内) ☎62-2400

武道空手富士見少年クラブ



私たち武道空手富士見少年クラブは、毎週土曜日に町民センターで稽古を行っています。

試合や相手に勝つことだけでなく、「強く成るとはどういうことか？」をテーマに掲げ、日々の稽古を通して心と体を鍛えています。

突き蹴りだけでなく、柔道やレスリングのような投げ技や寝技など、多彩な技を楽しく稽古しています。皆さんもぜひ一度、稽古を見に来てください。



練習日：毎週土曜日
時間：午後5時30分～7時
場所：町民センター大会議室
団員：小学1～6年生